

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

事業名	一般国道39号 <small>たんのたかの</small> 端野高野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自: <small>ほっかいどうきたみ たんの</small> 北海道北見市端野町字川向 至: <small>ほっかいどうあほしり びほろ たかの</small> 北海道網走郡美幌町字高野			延長	14.3km
事業概要					
<p>北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、本別町等を経由して、根室市及び網走市に至る高規格道路である。</p> <p>端野高野道路は、十勝圏とオホーツク圏の連携機能の強化を図り、災害に強い道路ネットワークの構築、安全性や輸送効率の高い物流ネットワーク形成による地域産業の活性化、観光拠点への速達性向上による観光振興等を目的とした延長14.3kmの事業である。</p>					
H31年度事業化	—	R3年度用地補償着手	R3年度工事着手		
全体事業費	約589億円	事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約25%	供用済延長	0.0km
計画交通量	16,300~18,700台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,589/5,539億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 3,384/6,815億円
	1.2(2.9)	5.0%(10.9%)	(事業費: 1,410/4,899億円 維持管理費: 180/560億円 更新費: -/80億円)		(走行時間短縮便益: 2,895/5,705億円 走行経費減少便益: 391/889億円 交通事故減少便益: 99/221億円)
	1.7(4.3) [2%]				
	2.1(5.4) [1%]				
	(残事業)	(残事業)	感度分析 (事業全体)		(残事業)
2.1(4.0)	9.5%(15.9%)	交通量	B/C=1.1~1.4(±10%)	交通量	B/C=1.8~2.4(±10%)
3.1(5.8) [2%]		事業費	B/C=1.2~1.3(±10%)	事業費	B/C=2.0~2.3(±10%)
3.8(7.2) [1%]		事業期間	B/C=1.2~1.3(±20%)	事業期間	B/C=2.1~2.2(±20%)
事業の効果等					
事業の必要性及び効果					
<p>① 農水産品の流通利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流ルート^①の速達性・安全性が向上することで、農水産品の流通利便性向上が期待される。 <p>② 救急搬送の速達性・安定性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への搬送時間の短縮や安定走行による患者負担軽減など、救急搬送の速達性・安定性向上が期待される。 <p>③ 災害時の緊急輸送ルートの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域や地吹雪発生箇所を回避するルートが確保され、災害時の緊急輸送ルートの強化が期待される。 <p>④ 冬期都市間バス運行の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の移動に加え、流水観光など観光需要があるオホーツクと道央間の代替機能が強化される。 <p>⑤ 広域周遊観光の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク圏の主要観光地への速達性が向上することで、広域周遊観光の活性化が期待される。 					

